

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第22週(令和6年5月27日～令和6年6月2日)

<発生動向>

第22週の手足口病の定点あたり報告数は、5.33となり、先週より増加し、警報レベル(警報開始基準5)を上回りました。詳細は別添をご確認ください。

手足口病はその名のとおりに、口の中や手のひら、足に水疱が出来るウイルス感染症で、小児(特に幼児)がかかりやすい病気です。口の中の痛みで食事がとれなくなるため、脱水にならないよう水分を少しずつ補給しましょう。また、症状がなくなっても長期にウイルスが便中に排出されることがあるため、日頃から手洗いの実施と、症状がある人とのタオルの共用はしないなど感染対策を徹底しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	7	81	22	372	246	5,902
腸管出血性大腸菌感染症	2	19	4	52	62	635
侵襲性肺炎球菌感染症	1	10	4	55	46	1,170
梅毒	1	63	8	301	185	5,251

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点あたり	定点あたり(前週)	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり
新型コロナウイルス感染症	117	3.34	3.03	700	3.54	16,554	3.35
インフルエンザ	0	0.00	0.17	51	0.26	1,176	0.24
RSウイルス感染症	60	2.50	1.63	231	1.93	4,748	1.51
咽頭結膜熱	15	0.63	0.58	91	0.76	2,599	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	116	4.83	4.08	1,012	8.43	15,769	5.03
感染性胃腸炎	158	6.58	5.75	654	5.45	15,515	4.94
水痘	17	0.71	0.25	60	0.50	684	0.22
手足口病	128	5.33	4.29	411	3.43	6,672	2.13
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	2	0.02	180	0.06
突発性発しん	6	0.25	0.42	63	0.53	1,011	0.32
ヘルパンギーナ	4	0.17	0.08	44	0.37	885	0.28
流行性耳下腺炎	3	0.13	0.21	8	0.07	210	0.07
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	34	0.05
流行性角結膜炎	0	0.00	0.00	4	0.15	470	0.67
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	6	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	1.00	2	0.13	137	0.28
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	1	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	3	0.20	11	0.02

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

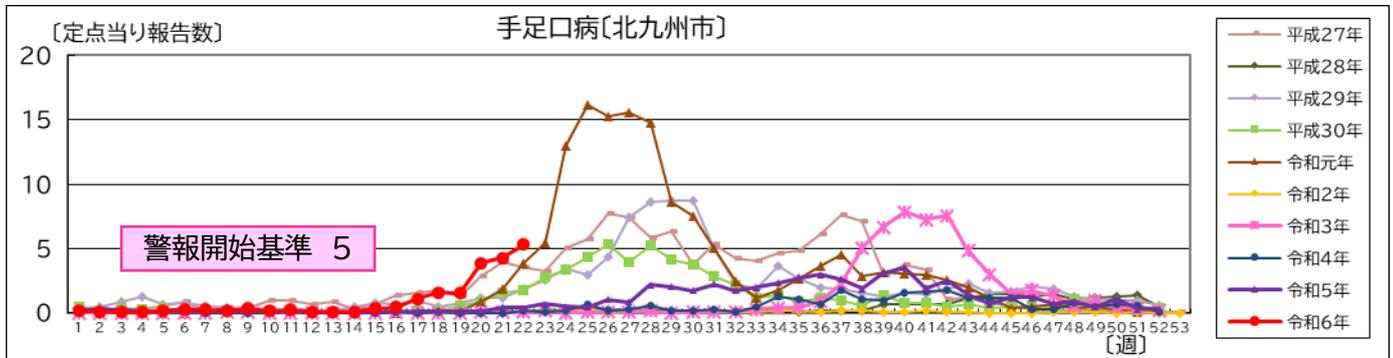
※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。

～注意情報～

《手足口病の患者数が警報レベルを超えました！》

令和6年第22週(5月27日～6月2日)の手足口病の定点医療機関あたりの患者報告数が5.33となり、警報レベルの開始基準である「5」を超え、急増しています。



手足口病の定点あたりの報告数(令和6年第18週～第22週)

	18週	19週	20週	21週	22週
	4/29～5/5	5/6～5/12	5/13～5/19	5/20～5/26	5/27～6/2
北九州市	1.58	1.54	3.88	4.29	5.33
福岡県	1.40	1.72	2.14	2.53	3.43
全国	0.61	0.90	1.49	2.13	集計中

※ 定点当たりの報告数とは、定点医療機関(北九州市では24医療機関)での1週間ごとの報告数を定点医療機関数で割った値です。

➤ 手足口病とは

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹がみられ、子どもを中心に、主に夏に流行する感染症です。(原因となるウイルスはコクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71、コクサッキーウイルス A10 など)ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気ですが、まれに、髄膜炎、脳炎、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの合併症が出ることがあります。

手足口病には有効なワクチンや手足口病の発病を予防できる薬はありません。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病はせず、ウイルスを排泄している場合があります。

➤ 感染経路

飛沫感染



感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫と一緒に放出されたウイルスを口や鼻から吸いこみ感染

接触感染



ウイルスが付着したドアノブ等を触れた手で、鼻や口、目などを触って感染

➤ 感染防止のポイント

(イラスト出典: 政府広報オンライン)



- ◇ この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。
- ◇ 流水とせっけんによる手洗いをしましょう。おむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。
- ◇ タオルは共用しないようにしましょう。